

分野	荒廃山地の復旧等の治山			事業番号	4	事業名	山地治山(予防治山)			
市町村名	大町市	ふりがな 箇所名	なか かい 中ノ貝		事業年度 (完了年度は見込み)	H24 年度 ~		H24 年度		
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	谷止工 1個				H23年度末 事業進捗率	-			
	H24年度以降実施内容	同上				本工事費等ベース	-			
	H24年度実施内容	同上				用地補償費ベース	-			
	年度	全体事業費	H22年度まで	H23年度	H24年度	H24年度以降残				
財源内訳	事業費計(千円)	18,500			18,500	18,500				
	国庫支出金	9,250			9,250	9,250				
	その他									
	県債	8,325			8,325	8,325				
	一般財源	925			925	925				
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価		ランク	評点		
	(20)	必要性	保全対象人家	10戸以上	1~9戸	0戸	C	0		
		保全対象公共施設	2箇所以上	1箇所	なし	3				
		保全対象に災害時要援護者関連施設があるか	重要施設	一般施設	なし	0				
		保全対象(保安林・林業用施設)	「広域基幹林道」又は利用区域500ha以上の林道又は保安林率50%以上	保安林率30%以上50未満又は流域対策上保全すべき森林あり	保安林率30%未満	5				
		小計					8			
	(15)	重要性	過去の災害履歴	過去5年に1回以上	災害履歴地	なし	B	5		
		交通遮断による地域経済などへの影響	大	中	小	5				
		防災計画上の位置づけ	あり	なし		0				
		小計					10			
	(20)	効率性	費用対効果(B/C)	B/C2.0以上	B/C1.0以上2.0未満	B/C1.0未満	A	10		
		早期発現度	3年未満	3年以上5年未満	5年以上	7				
		流域の総合調整	あり	なし		0				
		小計					17			
	(25)	緊急性	最寄の保全対象までの距離	50m未満	50m以上200m未満	200m以上	A	7		
		地形、地質の状況	火山噴出物、花岡岩、第3紀層、破砕帯かつ地すべり地形	火山噴出物、花岡岩、第3紀層、破砕帯	その他	3				
		平均渓床勾配(平均山腹勾配)	10°以上(30°以上)	5°~10°未満(20°~30°未満)	5°未満(20°未満)	2				
		下流の堰堤等の整備状況(他所管含む)	なし	あり(概ね満砂)	あり(ポケットあり)	3				
		危険地区危険度	Aランク	Bランク	Cランク	なし		4		
		小計					19			
	(20)	計画熟度	地域からの要望	地域住民活動強い	市町村要望有り	特に要望ない	B	7		
		事業情報の共有	関係者以外にも周知	関係者中心に周知	特に周知していない	0				
		住民参加の状況	住民が直接参加	住民市町村意見を反映	住民意見反映していない	3				
		小計					10			
	費用対効果(B/C)		2.83		評価の合計		B	64		
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	S34施工谷止工の下流側の損傷が著しく、加えて、上流右岸側の山腹が平成23年5月の豪雨により崩壊し、不安定土砂が谷止工直上部に異常堆積している。 下流直下40mには、県道川口大町線及び1級河川金熊川があり、今後の降雨や谷止工の不安定化の進行により、広範囲に渡る土砂災害の危険性が高いため、早急に対策を講じる必要がある。								
	地域からの要望経緯	平成23年6月23日付で大町市より事業要望があり、地方事務所林務課で現地調査を実施。								
	事業説明等の経緯	今後、計画の具体化に合わせ、適宜、事業説明を実施予定。								
	環境・景観への配慮項目	特になし。								
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。								
特記事項	特になし。									
地域の合意形成		全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他				
部意見	豪雨の度に、溪流沿いの浸食、崩壊が進んでおり、次期出水時に下方の保全対象に土砂流出、流木被害が発生する恐れがあるため、対策工の実施が必要である。			政策評価課意見	緊急性が認められる。					